

## 消防団長紹介

### 柏原市消防団 団長 阪本 幸重

柏原市は、大阪平野の南東部、大阪府と奈良県の府県境に位置しています。奈良盆地の諸流を集めた大和川が、金剛・生駒山地を横断して大阪平野に流れ出る付近に、その街並みを形成しました。市域の3分の2を山が占め、中央部を大和川が流れています。大阪の都心からわずか20kmほどの距離にありながら、緑の山々と美しい溪谷、豊かな川の流れなど、多彩な自然環境を備えた、とても暮らしやすい市となっております。山麓にはブドウ畑が多く、夏から秋にかけてはブドウ狩りが盛んに行われています。また、このブドウからできたワインは、柏原地ワインとして知られています。

柏原市消防団は、昭和31年9月に柏原町消防団として発足し、昭和33年10月に市政施行により、柏原市消防団として現在に至っています。令和2年4月には女性分団を創設し、現在1本部5分団で構成され、131名の団員が昼夜を分かたず各種災害に備えています。

私は、昭和54年10月1日に入団、班長、分団長を務め、平成18年6月1日に消防団長に任命されました。また、令和元年6月より、大阪府消防協会中河内地区支部の支部長を務めさせて頂いております。

消防団活動で記憶に残っている出来事としては、平成20年8月、地元の化学工場で発生した火災です。禁水場所への放水に勇み立つ若い団員に、消防本部の指示のもと慎重に行動するよう指揮を執り、延焼防止活動を行い、大惨事を免れたことを鮮明に記憶しております。

消防総合訓練、教育訓練や講習会等、消防技能の向上のみならず団員としての幅広い知識の習得と人材育成を行い、災害時には団員の安全管理を徹底して活動しています。

また、市民への防火意識の普及や防災についての啓発活動等、住民の安心と安全のための防災リーダーとして重要な役割を担い地域に根ざした消防団を目指し、郷土柏原のために尽力したいと思います。